



平成18年7月19日から6日間降り続いた雨により中尾地区で土砂崩れが発生
(7月24日正午頃撮影)

津奈木町は熊本県の南部に位置し、海や山に囲まれた非常に自然豊かな町です。町の中心にそびえる重盤岩は高さ80㍎あり、本町を一望することができます。

しかし、このような自然に囲まれた地域だからこそ自然災害には十分に気を付けなければなりません。最近では平成18年7月末に本町を襲った大雨により、中尾地区においては民家の真横で土砂崩れが発生しました。赤崎地域においても河川が氾濫する危険性があったため全戸に避難勧告を出すなど、非常に大きな被害を受けました。

平成23年は3月11日に発生した『東日本大震災』をはじめ、世界的にもトルコの大震災、タイの大雨による洪水など災害が非常に多い年となりました。

災害から身を守り、被害を最小限に抑えるためにはどうすればよいのか。これからの町の『防災』体制について町長にお話を伺いました。

新春特集

災害に備えた まちづくり